

令和4年度ノーリフティングケア普及促進事業
モデル施設実践報会

～ 1年目の取り組みでの気づきから飛躍へ～



F.C.S 社会福祉法人
福岡ケアサービス
Fukuoka Care Service

特別養護老人ホーム 初花

・54床

・重度腰痛者が多い

・職員平均年齢40歳

～取り組み開始前の初花～

- ・ノーリフティングケアという概念すらなく、抱え上げ介助が当たり前。
- ・長く勤続されている方ほど**重度腰痛者**が多く、若手の職員が主に抱え上げ介助を担当。
- ・リフトはあったが、**使用されず置物**になっていた。



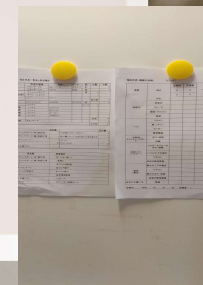
～6月取り組み開始後の初花～

- ・計画を立て、実行することが安定してできた。
- ・全職員を一律として動いていたので、宙ぶらりんになった感が否めなかった。
- ・もっと段階を踏んで重度腰痛者からなど、対象者を選定し動いていけばもっと周りを巻き込んで浸透させて行けたかもしれなかった。
- ・**リスクの芽の抽出、**
小さい椅子に変更し、
爪切り時の不良姿勢改善はできた。



～夏明けの初花～

- ・計画書通りに進んではいたが、**コアスタッフが動いているのみでリンクスタッフを含めた他職員には浸透していない。**
- ・『めんどくさい』『蛇足である』という他職員の意見を変える、**成功体験**をさせてあげられなかった。
- ・**福祉用具管理、清掃システム構築はできた。**
置物になっていたリフトを実際に使用した。



～半年間の総括～

- ・リフト、スライディングボードを導入し、抱え上げ介助の回数軽減が可能に。
- ・リスクの芽から爪切り時の不良姿勢改善の為の小さい椅子を導入。
- ・福祉用具管理、清掃点検のシステム構築。
- ・他職員へのノーリフティング事業への落とし込みが甘く、施設として動けていない。
- ・実技研修の身体を使っの講習が行えていない。

20XX

Contoso のビジネスプラン

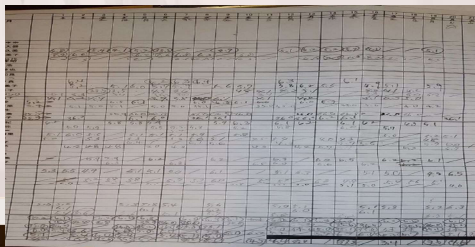
～秋の初花～

- ・ノーリフティングケアへの意識が**全職員低下**していく。コアスタッフの普段の取り組みを可視化することができておらず、『**なんかやってる**』程度の認識。
- ・計画(P)を立て、実行(D)するは当初より出来ているが、確認し評価(C)し再計画(A)までの流れが相変わらずできていない。
- ・教育に関しては指導計画も立てられず、実技研修を行えていない。
- ・**色々な福祉用具をレンタルし、試用し始める。**



～冬の初花～

- ・コロナクラスター発生により計画が停止。クラスター中でもできることを行う。
- ・**腰痛体操**のポスターを各男女更衣室に掲示。出勤時体温を記入する際に各自体操を行い、記入した体温に**○をつける**ことで**達成度を把握**。



良かった点

- ・計画を立てる、実行するの部分が安定して行えた。
- ・毎月2回委員メンバーで集まり、進捗状況の把握が行えた。
- ・各係が発足当初より、自身の役割を理解し作業分担ができた。



～ 1年目の初花総括～

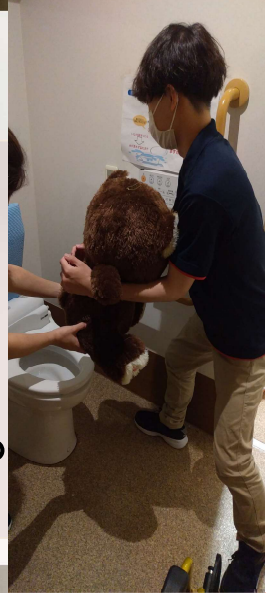
反省点

- ・PDCAのCAの部分が1年を通して機能していなかった。
- ・ノーリフティングケアの取り組み自体の意義や必要性を他職員にうまく落とし込むことができず、コアスタッフとの熱量の差が埋めきれなかった。
- ・教育が特に進まず、実地指導が1回も行えなかった。



～ 2年目に向けて～

年度の切り替えに伴いコアスタッフが入れ替わります。2年目に向けて改めて**施設長より取り組みの号令**をかけていただき気合を入れ直したいと考えています。
また、4月までに新メンバーで会議を行い、1年目の取り組みの説明、2年目に向けての動きの確認を行う予定です。
1年目の失敗を2年目では繰り返さないよう、しっかり良かった点、反省すべき点の見直しを行い、準備を進めて行ければと思います。



～ 1年目の取り組みでの気づきから飛躍へ～

今回のマネジメント研修において、他職員への落とし込みの甘さが大きく計画に影響したと思います。
結果、計画を実行するだけで手一杯となり、計画の見直しや再構築にかける時間が無くなってしまいました。

ですが計画を立て、下手なりにでも実行し続けたこと、ほんの少しの成果ではありますが形として施設に取り組みを示すことができたことは2年目に向けていい経験になりました。
失った時間は戻せないで、まずは2年目が始まるまでにしっかり他職員へ落とし込みを行い、みんなが同じ方向を向いた状態で再スタートをしたいと考えています。

1年間ありがとうございました。
2年目もよろしくお願いいたします。

特別養護老人ホーム 初花